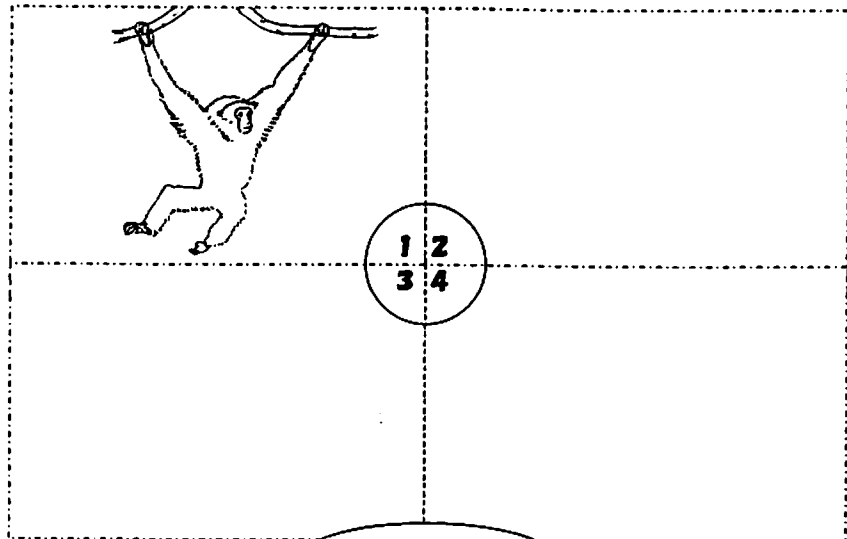


移動のしかたを比べよう

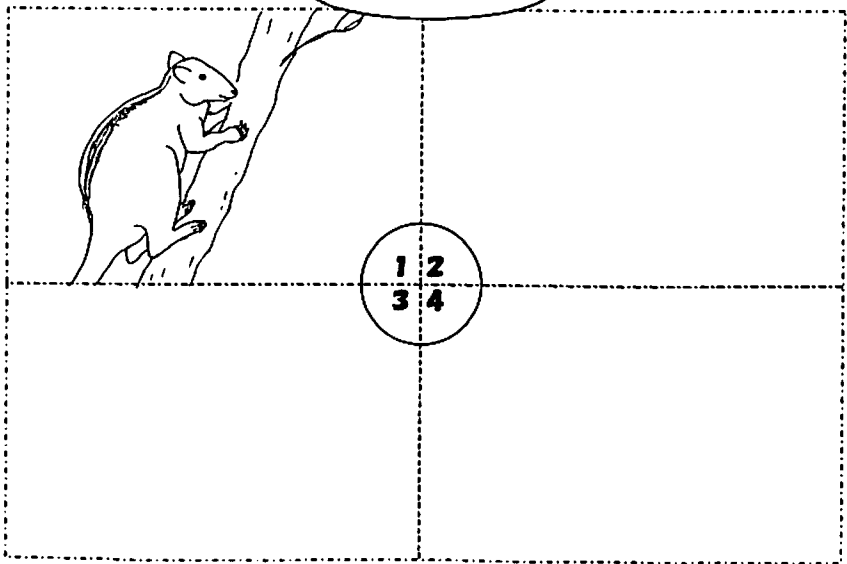
すんでいる環境や種類の違う動物の移動の仕方を比べてみましょう。

体のどの部分を使ってどのように移動するのでしょうか？ 動物園で観察して続きをスケッチしよう

ボウシテナガザル ◎ 東南アジアの熱帯雨林にすんでいます。
更に観察してみよう → 止まって休むときはどこでどんな格好をしているでしょう？

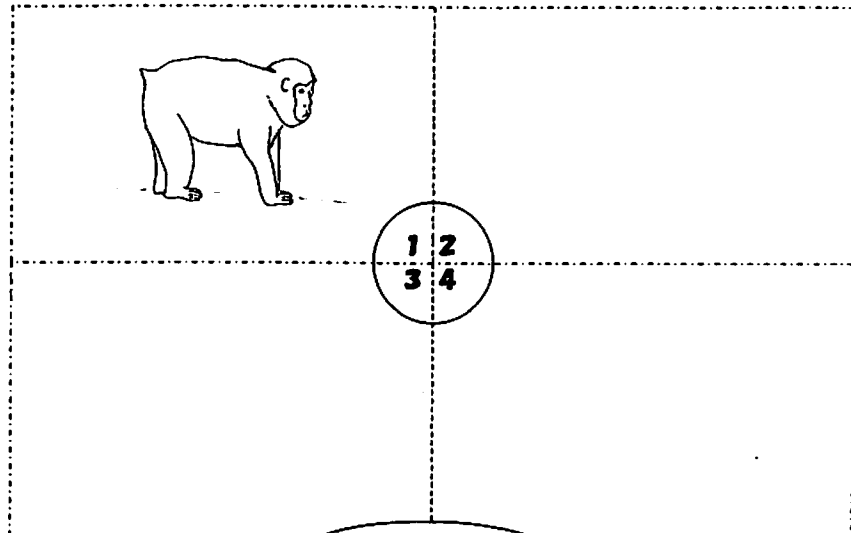


木の上を移動

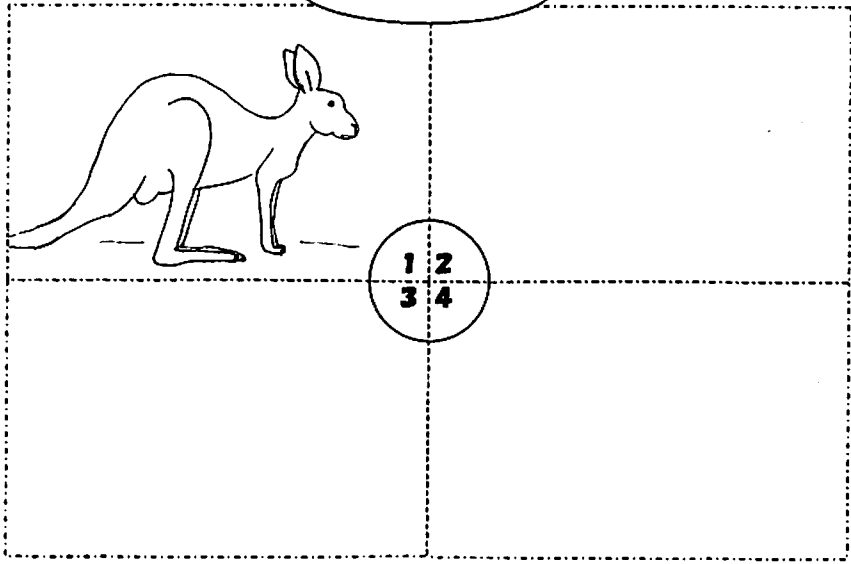


セズキボリカンガルー ◎ ニューギニアの熱帯雨林にすんでいます。
更に観察してみよう → 草原にすむカンガルーと似ているところ違うところはどこでしょう

ニホンザル ◎ 日本の広葉樹林にすんでいます。
更に観察してみよう → 木の上や岩の上ではどんな風に移動しているでしょう？



地面の上を移動



サルの仲間

カンガルーの仲間

アカカンガルー ◎ オーストラリアの草原にすんでいます。
更に観察してみよう → 短い距離をゆっくり動くととき、遠くまで早く移動するときを比べてみよう

教員用

動物は様々な行動をとります。今回は「移動する」という行動に注目し、同じ環境でも動物種によって、また、近い仲間の動物でもすみ環境によって、それぞれ特徴があることを見てみましょう。

学習のポイント

- 動物をよく観察し、動きをスケッチする
- ずんでいる場所や動物の種類によって、同じ行動にも違いがあることに注目する

それぞれの動物を観察して、移動のようすをスケッチしてみましょう。

サルの仲間（霊長目）

前足（＝手）は親指が他の指と向いあっているため、物をつかめ、枝をつかんで移動するのに役立っています。同じサルの仲間でも、ほとんど木から降りないテナガザルと地上を動きまわることも多いニホンザルとは体つきや移動の仕方が違います。

観察のポイント

ボウシテナガザル ほとんど木からおりずに樹上で生活しています

山足に比べても長い前足 上腕の筋肉が発達

体を揺って「うんてい」の要領で枝を揺って移動します

ニホンザル 木のぼりも得意ですが、地面の上も歩きまわります

前足と後足の長さはあまり変わりません

ある程度の太さがあれば枝の上を歩きます
近くの岩や枝にジャンプして飛び付きます

カンガルーの仲間（有袋目カンガルー科）

跳躍に適応した長い足と、バランスをとったり体を支えたりするのに役立つ長く太い尾を持っています。開けた草原にすむものから、岩場にすむもの、森の中でくらすものなど、生息地の環境も様々です。

観察のポイント

アカカンガルー 見通しのよい草原をジャンプしながら移動します
ゆっくり移動するときは前足をついて後足を同時に前に出します

大きな尾でバランスをとります 後足が大変発達しています

セスジキノボリカンガルー 熱帯雨林の木の上でくらしています
左右の足を交互に動かし木を上り下りします 発達した後足でジャンプもします

長い指でバランスをとります 木をつかむするどい爪があります 草原にすむカンガルーよりは前足が発達しています

発展学習

- スーラシアの他のサルの仲間も観察してみましょう！
→ 森林オランウータン・フランソワルトン・JFソーリーモンキー など
- 別の環境でくらす動物の移動方法や体のつくりを観察してみましょう！
→ 水中を移動する動物（ワグルペンギン・ミミアフリカオットセイなど）
空を飛ぶ動物（オオワシ・カモメ など）
- 同じ環境でくらす違う種類の動物も観察して比べてみましょう
→ おもに樹上でくらす：ウンビョウ（ネコ科） ハクビシン（ジャコウネコ科）
草原でくらす：エミュー（鳥類）

よりよい教育を実現させるツールのひとつとして、ズーラシートを通し、様々な動物園学習のつながりを提供していきたいと考えています。動物園をより有効に活用していただくために、単に動物のことを学ぶだけでなく、動物観察を通し、子供たちが様々な角度からものを考えることができるように工夫をしていきます。このズーラシートの活用事例、改善点など、どんなことでもお聞かせ下さい。私たちは先生方とともに教育を考え、そして子供たちと一緒に環境のことを考えていきたいと思えます。

●ご意見の宛先、お問い合わせ先 ※市ホストもご利用いただけます
〒241-0001 横浜市区区上白根町 1175-1
横浜市立よこはま動物園 管理課 経営企画係
電話 045-951-5115 Fax 045-951-0777